

交通まめ知識

ご存じでしたか? **パブリック・インボルブメント**
このことば **アカウンタビリティ**

みなさんは、上の2つのことばを知っていますか。
今回のアンケート調査では、このことばを知っている方は、「パブリック・インボルブメント」は3%、「アカウンタビリティ」は8%でした。

パブリック・インボルブメント(PI)とは

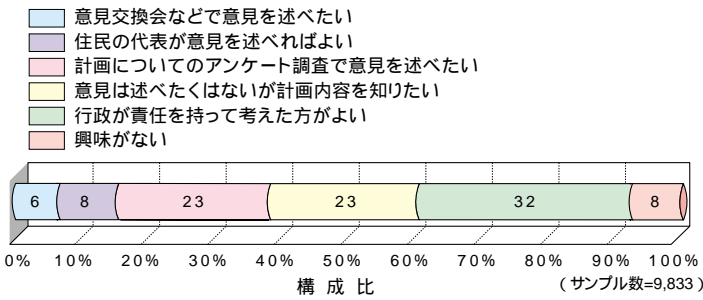
行政が計画の策定や事業を行っていく際に、策定の過程を公開する機会を設けたり、広く意見を聞く機会を設けたりする取り組みのことです。

アカウンタビリティ(説明責任)とは

行政が市民に対して情報を提供し共有しながら、政策の考え方や方向性について責任をもって説明することをいいます。

また、アンケート調査の結果、広域的な総合交通計画に対する参加意向は、以下のようになりました。

半数以上の方が、意見交換会やアンケート等で、住民の意見をとりいれるべきだと考えていることがわかりました。



「東京都市圏交通計画協議会」とは……

わたしたち「東京都市圏交通計画協議会」は、日本ではじめて複数の都県市関係機関がお互いに協力・調整しあって、広域的な交通問題に関する調査・研究を行う組織として、1968年(昭和43年)に発足し(当時は東京都市群交通計画委員会)、30年以上にわたって活動してきました。

問い合わせ先

建設省 関東地方建設局 企画部 広域計画調査課 TEL 048-600-1330 FAX 048-600-1373	茨城県 土木部 都市局都市計画課 TEL 029-301-4583 FAX 029-301-4599	埼玉県 住宅都市部 都市計画課 TEL 048-830-5344 FAX 048-830-4881	千葉県 都市部 計画課都市政策室 TEL 043-223-3166 FAX 043-225-4012	東京都 都市計画局 施設計画部交通企画課 TEL 03-5388-3283 FAX 03-5388-1354	神奈川県 県土整備部 都市計画課交通企画班 TEL 045-210-6182 FAX 045-210-8879
横浜市 企画局企画調整部 総合交通計画課 TEL 045-671-4086 FAX 045-662-7362	川崎市 まちづくり局計画部 都市計画課 TEL 044-200-2034 FAX 044-211-7475	千葉市 都市局都市部 都市計画課 TEL 043-245-5306 FAX 043-245-5627	都市基盤整備公団 都市整備部 事業計画課 TEL 03-3263-8392 FAX 03-3263-8188	日本道路公団 東京建設局 建設第一部企画調査課 TEL 03-5418-2001 FAX 03-5418-2050	首都高速道路公団 計画部 調査課 TEL 03-3539-9408 FAX 03-3502-2412

ご意見・ご感想をお寄せください。

東京都市圏交通計画協議会 ホームページアドレス <http://www.ijnet.or.jp/tokyopt/>



交通だよりの発行について

東京都市圏交通計画協議会では、平成10年度から実施している、パーソントリップ調査や意識調査の結果について、本号も含めて交通だよりとしてお知らせしてまいりました。

平成10年度	平成10年度東京都市圏 パーソントリップ調査 ニューズレター Vol.1(創刊号) <特集テーマ> “いっしょに考えてみませんか?くらしと交通に関わるこんなこと、あんなこと...” パンフレット (ニューズレター Vol.2(特別号)) “人の動きからみる東京都市圏のいま” ニューズレター Vol.3 <特集テーマ> “くらべてみてくださいあなたの住んでいる地域の人の動きあれこれ”
平成11年度 平成12年度	ニューズレター Vol.4(本号) <特集テーマ> “あなたはどのように感じていますか?身近な交通の問題に対する、みなさんのご意見” ~公共交通編~ ニューズレター Vol.5(予定) <特集テーマ> “東京都市圏交通計画協議会・第3回シンポジウム” ニューズレター Vol.6(予定) <特集テーマ> “交通に関する意識調査結果”~道路交通編~

編集後記

今回の特集はいかがだったでしょうか。紹介した意識調査の結果は、あなたがふだん感じている状況と同じでしたか、違いましたか。第5号では、2月に開催しました「東京都市圏交通計画協議会・第3回シンポジウム」の内容を特集する予定です。なお、第6号では、「交通に関する意識調査結果」の「道路交通編」を特集する予定です。



東京としけん交通だより

~これからのくらしと交通を考える~

特集

“あなたはどのように感じていますか
身近な交通の問題に対する、みなさんのご意見” ~公共交通編~

~平成11年度「交通に関する意識調査」の結果から

ご協力ありがとうございました

平成11年11月から実施いたしました「交通に関する意識調査」に 多くのご意見を寄せていただきました。調査にご協力いただいた方:10,126人(有効回答)。「世帯訪問調査」、「行政モニター調査」、「インターネット調査」、パンフレットのアンケート調査(はがきで回収)の回答を合わせた結果です。「東京としけん交通だより」の第4号では、「交通に関する意識調査」の結果のうち、公共交通に関するものを紹介します。また、第6号で、道路交通に関するものを紹介する予定です。

交通トピック

都市圏で活躍する
公共交通(2)

これだけあります東京都市圏のモノレールや新交通など



モノレール

- ⑦多摩都市モノレール:多摩センター~上北台
- ⑧東京モノレール:浜松町~羽田空港
- ⑨湘南モノレール:大船~湘南江ノ島
- ⑩千葉都市モノレール:1号線 千葉みなと~県庁前
2号線 千葉~千城台



路面電車

- ①都電荒川線:早稲田~三ノ輪

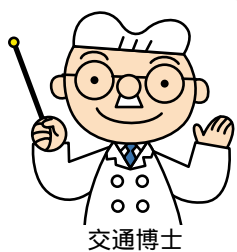


新交通システム

- ②ユウカリが丘線:ユウカリが丘~井野
- ③埼玉新都市交通:大宮~内宿駅
- ④東京臨海新交通臨海線:新橋~有明(ゆりかもめ)
- ⑤西武鉄道:西武遊園地~西武球場前
- ⑥金沢シーサイドライン:新杉田~金沢八景

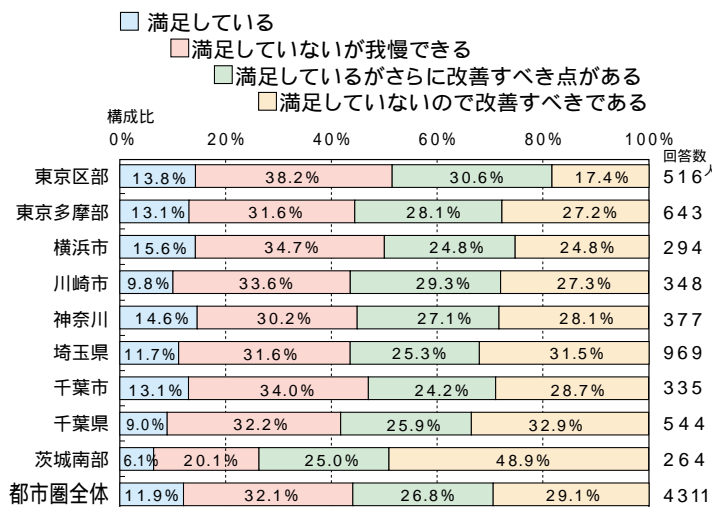
(平成12年3月現在運行中のもの)

今回は、鉄道とバスについての結果をまとめました。

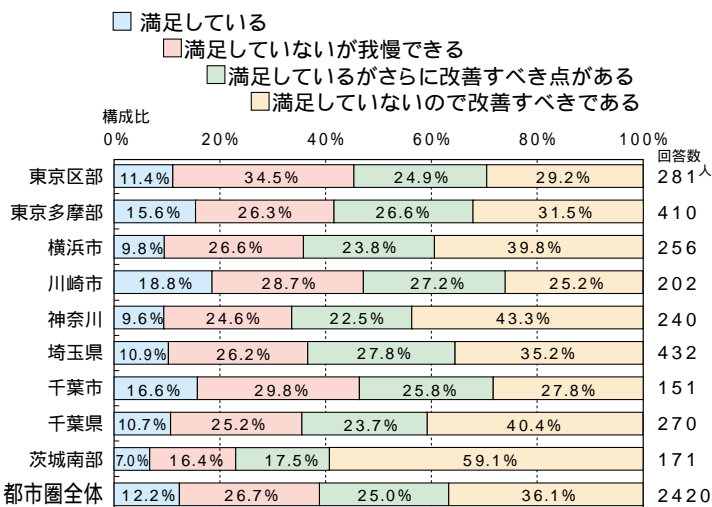


鉄道とバスのサービスについて、みなさんがどのくらい満足しているか、改善が必要かと思っているかみてみよう。
地域別にみると、鉄道サービスについては、特に茨城南部で改善の要望が高く、東京区部は全体と比べると要望が低くなっている。
また、バスサービスについては、茨城南部で改善の要望が高く、東京区部、川崎市、千葉市は全体と比べると要望が低くなっている。（※神奈川県：横浜市と川崎市を除く、千葉県：千葉市を除く）

鉄道サービス（平日）



バスサービス（平日）



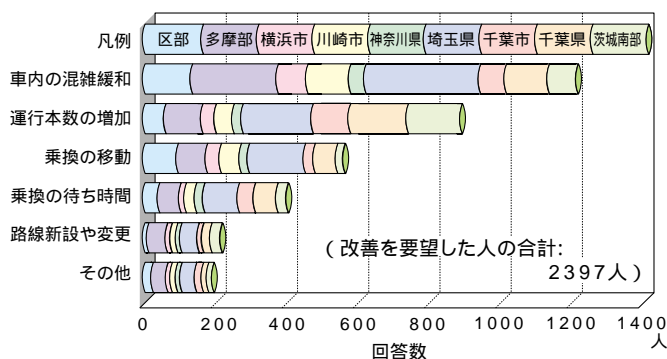
都市圏全体でみると、満足していない人が約6割、改善を要望している人が5割以上となっている。
改善を要望している人のうち、鉄道とバスそれぞれについて、どのような改善を要望しているか詳しくみてみよう。

鉄道サービスの改善について



鉄道では、「車内の混雑緩和」と「運行本数の増加」、「乗換の移動」の要望が多いだね。

お父さん とき夫さん



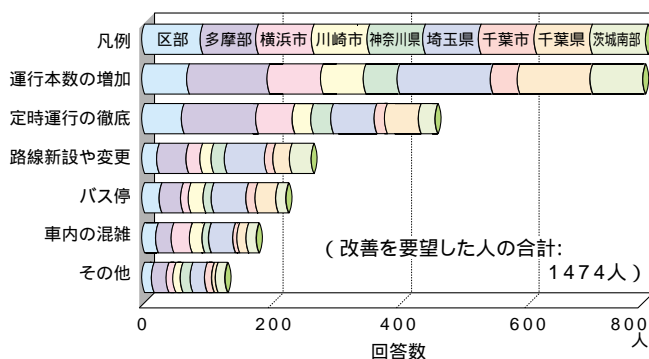
乗換の移動: 乗り換えの際の階段や歩く距離
1人2つまでの複数回答

バスサービスの改善について



バスでは、「運行本数の増加」と「定時運行の徹底」の要望が多いのね。

おばあちゃん いば美さん



バス停: バス停のベンチや屋根などの設置について
1人2つまでの複数回答

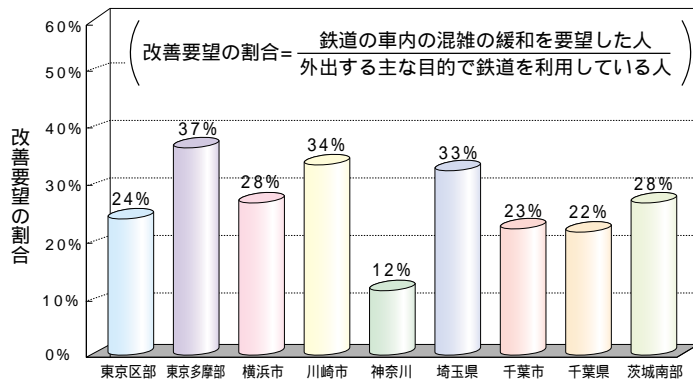
上記の結果は、地域別の回答数を合計したものです。



次に、改善の要望が多かったサービスについて、地域別に、改善要望にどのような違いがあるかみてみよう。

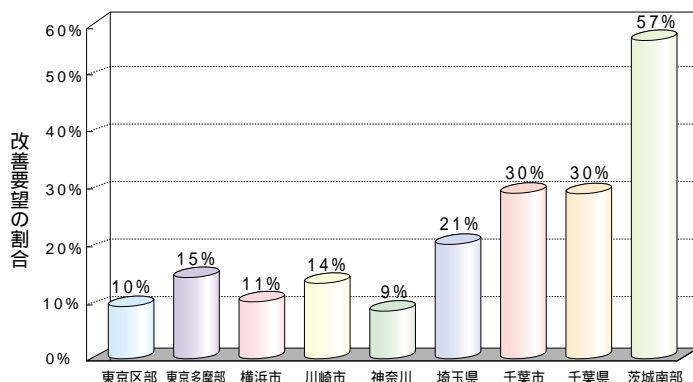
鉄道の車内の混雑緩和

鉄道車内の混雑については、東京多摩部や川崎市、埼玉県など、東京区部周辺に住んでいる人の改善要望が高いだね。



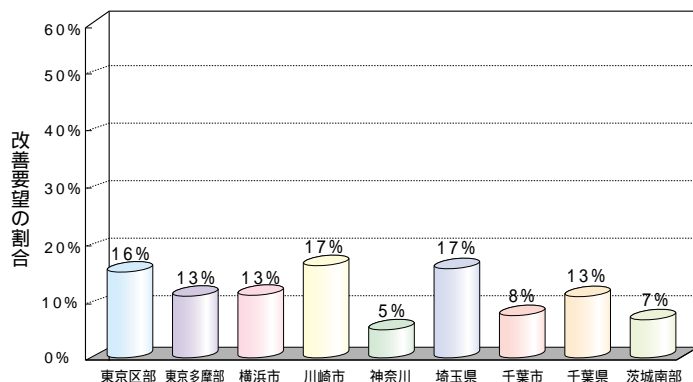
鉄道の運行本数の増加

鉄道運行本数の増加については、千葉県（千葉市含む）と茨城南部に住んでいる人の改善要望が高いだね。



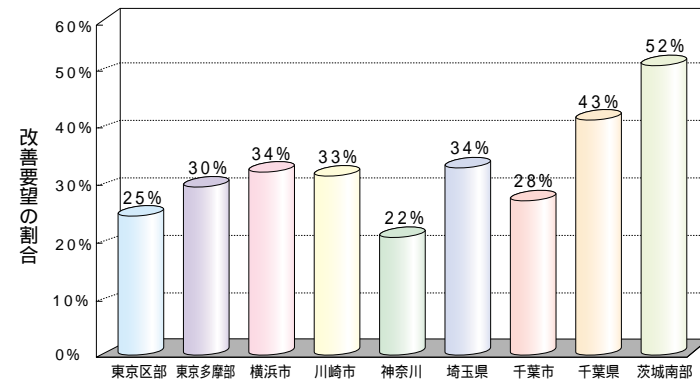
鉄道の乗り換えの移動

鉄道を利用する場合の乗り換えについては、東京区部、川崎市、埼玉県に住んでいる人の改善要望が高いだね。



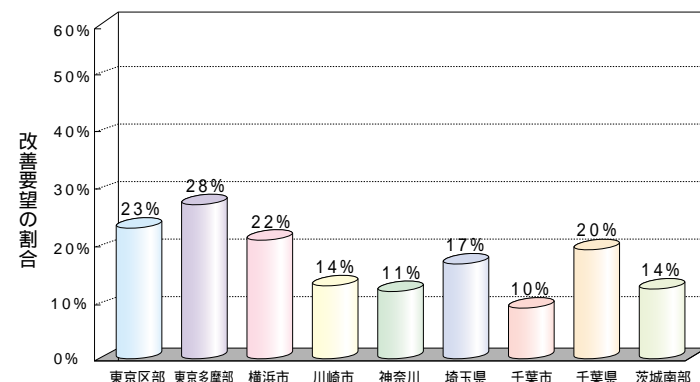
バスの運行本数の増加

バス運行本数の増加については、千葉県や茨城南部に住んでいる人の改善要望が高いのね。



バスの定時運行の徹底

バスの定時運行については、東京都や横浜市に住んでいる人の改善要望が高いのね。



みなさんの「声」 調査票の自由記入欄にもいろいろな意見をいただきました。その一部を紹介します。

今後は高齢化に対応した交通体系環境整備を図るべき。現在は「点」になっているので将来は「線」そして「面」へと展開すべきである。（東京都・51才・男性）
 公共交通機関でのライトレール(路面電車)復活など環境面への配慮を望む。（神奈川県・63才・男性）
 朝の電車や夕方車の混雑がひどい。首都圏から首都圏への移動が不便。首都内の混雑もひどい。（埼玉県・22才・男性）
 21世紀の高齢化社会においては福祉・環境面も含めて公共交通のはたす役割は特に都市部においてますます重要になってきます。（千葉県・42才・男性）
 高齢化社会が進む中、移動手段となる公共交通の環境改善を是非実現してもらいたい。（茨城県・62才・女性）
 (コメントについては、記入していただいたままを原則としていますが、誤字など、一部表記を変えている場合があります。)